



社会・地歴科教育法

フィールドスタディ報告

人間文化学科 講師
両角 遼平

「社会・地歴科教育法」の概要

「社会・地歴科教育法」は、中学校社会科および高等学校地理歴史科の教育職員免許状取得を目指す学生が受講する科目です。

前期の講義では2コマ分を使って
フィールドスタディを行い、その
成果をもとに授業づくりを行いました。



フィールドスタディの対象地域



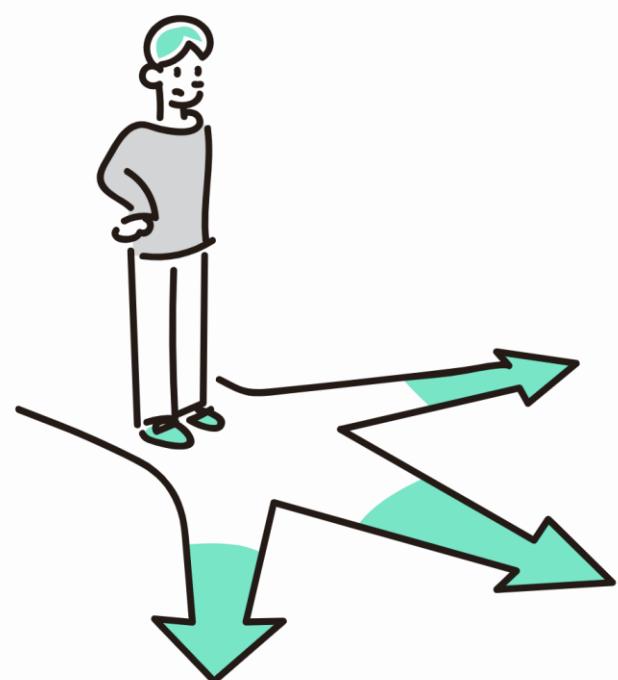
受講生と相談して、福山大学の所在する福山市に隣接する身近な地域であり、観光地や港町といった地理的特色を有しております、教材となる地理的事象が豊富な尾道市を対象地域に選定しました。

フィールドスタディのメンバー

受講生9名を3班に分けて、班ごとに事前準備として尾道市の特色を調べ、具体的な調査計画を立てました。

班	学生	取得予定の免許状	班	学生	取得予定の免許状	班	学生	取得予定の免許状
1	A	高校地歴	2	D	中学社会 高校地歴	3	G	中学社会 高校地歴
	B	高校地歴		E	中学社会 高校地歴		H	中学社会 高校地歴
	C	高校地歴		F	高校地歴		I	中学社会 高校地歴

フィールドスタディの様子



2024年6月18日(火)にフィールドスタディを実施しました。当団は9時30分に尾道駅へ集合し、班ごとに分かれて約2時間20分間の調査を行った後、11時50分に再度尾道駅へ集合し、解散しました。

- 1班…尾道駅周辺および尾道本通り商店街
- 2班…千光寺周辺
- 3班…千光寺周辺および尾道本通り商店街

フィールドスタディの様子

3班による尾道本通り商店街と 千光寺周辺(尾道水道)の調査



フィールドスタディと授業づくり



フィールドスタディ実施後の
講義では、調査の成果をもと
に各班で授業をつくり、**学習
指導案を作成しました。**

各班が作成した学習指導案
をもとに、代表者が**模擬授業
を行いました。**

フィールドスタディの成果

フィールドスタディを通して、学生が地域を教材として研究する方法を身につけるとともに、身近な地域を対象とした多様な授業づくりの在り方を比較・考察することができました。

また、今後はフィールドスタディ実施前に授業づくりを見据えた事前準備・調査を行う必要性が見出されました。



フィールドスタディの成果

本科目の取り組みをもとに、学生の授業づくりを分析・考察した紀要論文を執筆しています。ぜひご覧ください。

両角遼平(2025)「教職課程履修学生は身近な地域をどのように授業化するのか—広島県尾道市における地域調査に基づく授業開発を事例に—」『福山大学人間文化学部紀要』第25巻, pp.61-80.

<https://fukuyama-u.repo.nii.ac.jp/records/2000282>

